

日時：令和2年9月30日（水）午後6時30分～8時30分

会場：高浜市役所 会議棟1・2

出席者：大人チームメンバー 13人（欠席8人）、企画部：深谷部長、榊原GL、田中主査
総合政策G担当 山本副主幹、中村主事、多武

(1) これまでの状況報告

- レストランOmiさんのオリジナル食べ物「I♡TAKAHAMA サンドイッチ」をいただきながら会議を進行。
- このレストランOmiさんのオリジナル食べ物を含め、前回会議から一か月で協力店舗・協力検討店舗の数がかなり増えている。
- みなさんのご協力のおかげです。引き続き来月いっぱいまでは店舗さんへの依頼をお願いいたします。



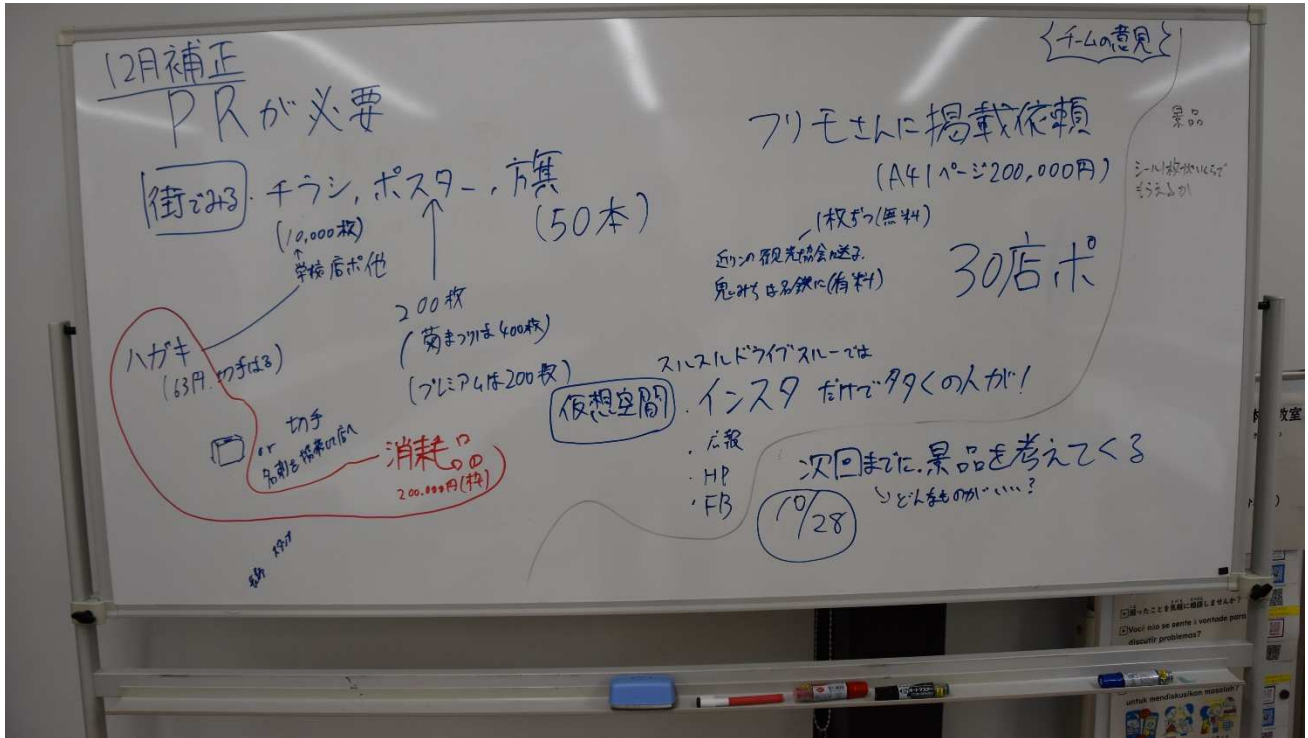
(2) プレゼント企画のキャンペーンについて

- 事務局より、資料を基に説明。

ご意見など

- ★期間が50日となっているが、これでは短いと思う。一般懸賞における景品類の限度額は「最高額：取引価格の20倍」「総額：懸賞に係る売上予定総額の2%」となっているが、期間が短くなると、その分売上予定総額が見込めなくなる。
- ★店舗・商品によっては値段の低い商品が対象となることもあるので、たとえば協力店舗で総額500円以上購入した場合にシールを渡すというように、応募金額の下限も決めたい方がいい。
- ★チラシだけでは広告が足りない。宣伝のためにはキャンペーン専用ののぼり旗を協力店舗に置くことが絶対必要。
- ★お店側のメリットがない。お客さんが店舗に足を運んでいただけるような、店舗側のメリットが必要。PRは大事なので、のぼり旗は良い案。
- ★フリモかわらにキャンペーン記事を載せていただくことはできる？
⇒できる。そうすれば市内、市外にも宣伝できる。
- ★はがきはすべて本人負担とするなら、よっぽど魅力的な景品類にしなければならない。
- ★はがきはペラペラの紙でも対応可能なはず。チラシや広報に切り取り線をつけてはがきの代用のもととして送ってもらう。もしくは郵送不可として、直接市役所に持ってもらうとか。
- ★応募箱は店舗に置いたほうが応募者側からしたら親切。紛失などに気を配るなど店側に責任が出てくるというが、市内のイベントでそのように応募箱だったりのはがきだったり店側に紛失したという話は聞いたことがない。
- ★応募箱を置いていただける店舗にだけ協力してもらえればいい。
- ★前回会議で補正予算の話が出ていたのに、それを差し置いて事務局で勝手に「こうしましょう」と決めるのはおかしいのでは。なんでもかんでも「予算でできない」と言われると、メンバーと事務局の信頼関係にかかわる。

◎キャンペーンを開催するにあたって何が必要なのか、あらためてみなさんに意見を出し合ってもらいました。



フリモかわらさんへの掲載、チラシ、ポスター、のぼり旗、はがき、消耗品類…
みなさんから出ました意見をもとに、12月補正予算で「キャンペーン企画」として計上
できるよう、現在事務局で対応しています。
こちらにつきましては、随時報告させていただきます。

◎次回会議開催予定日時：10月28日（水）18：30～ 会議棟

